

平成31年度

田原市のまちづくり

2月25日(月)に開会した田原市議会第1回定例会の冒頭、山下政良市長は、平成31年度の市政運営を明らかにする施政方針を説明しました。平成31年度予算案も原案通り可決されましたので、施政方針の要旨と新年度予算の概要をお知らせします。



《施政方針の要旨》

わが国の経済動向は、企業収益が過去最高となる中で、設備投資が増加すると共に、雇用・所得環境の改善により、個人消費の持ち直しが続くなど、緩やかな回復が続いています。

こうした中、本市の財政状況は、中期財政計画の通り、法人市民税率の引き下げや、合併算定替の縮減による地方交付税の減少に伴い、大変厳しい状況です。

予算規模が縮小する中、限られた財源を効果的に生かし、総合計画に掲げる都市将来像の実現と、総合戦略によるさまざまな地域活性化策を推進してまいります。

一方、社会動向として、持続可能な社会を実現するための開発目標「SDGs」^{エスディージーズ}について、自治体の積極的な取り組みが求められています。

本市は、「たはらエコ・ガーデンシティ構想」などで、すでに持続可能な社会の実現に向けて取り組んでおりますが、今後はさまざまな施策にも生かし、「元氣な渥美半島づくり」を目指してまいります。

* * *

昨年は、市制施行15周年を迎えた節目の年であると同時に、豊川用水通水50周年の年でもありました。水の恵みがあってこそ、本市は、全国有数の農業のまちへと発展を遂げました。

また、昨年9月には、世界最高峰のサーフィン大会である「ワールドサーフィンゲームス」が開催され、期間中は、世界42カ国・197名の選手、約5万人の来場者で会場は熱気に包まれました。

この他、11月には、「第10回全国丼サミット」が開催され大盛況となりました。

これら「渥美半島の観光やスポーツ」「全国有数の農業や工業」を、しっかりと支えるためには、交通ネットワークの充実が欠かせません。

安全で快適なまちづくりを進めるため、本市の脆弱な道路環境を克服し、将来に向けて発展性のあるまちづくりにつなげてまいります。

* * *

平成31年度は、厳しい財政状況が続く中、歳出全般にわたり、優先順位を洗い直し、「総合計画第13期実施計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策を着実に実施し、魅力あるまちづくりを推進すると共に、市民の皆さまの安心安全を守り、快適な暮らしの基盤づくりに努めてまいります。

* * *

次の世代を担う子どもたちが、誇りを持つことのできる、元氣な渥美半島をつくっていくため、平成31年度予算は、さらなる飛躍への礎を築く予算として編成し、地域の魅力を磨き、将来への基礎固めに取り組んでまいります。市民の皆さまの格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

※本定例会は市内養豚場で発生した豚コレラ防疫活動に考慮し、議会業務継続計画の発動により、市議会議員は防災服を着用しました。

また、市当局側も田原市豚コレラ防疫対策本部を設置中のため、水防服を着用しました。

◆施政方針の全文は、市HPでご覧いただけます。

ID10006137